

31

NPO法人 スポーツコミュニケーションかくだ (NPO法人スポコムかくだ)



設立の趣意

総合的なスポーツ活動により、地域住民の健康増進並びに青少年の健全育成と競技力の向上を図るとともに、新しいスポーツスタイルを通して地域の活性化に寄与する。

シンボルマーク

緑色と水色は自然豊かな森と田園及び阿武隈川を、赤は爽りを表しています。そしてこの地域に人々が集い、スポーツを楽しむ様子をイメージしています。

クラブ名の由来

角田地域での「スポーツ」をキーワードとしたコミュニケーションによる新しいスポーツスタイルの提供。

基礎 DATA

会員数	414名	●男性	237名
		●女性	177名
●小学生	296名	●中学生	8名
●一般	33名	●60歳以上	77名

住所：〒981-1504
角田市枝野字青木 155-31
角田市総合体育館内
TEL：0224-63-3771
FAX：0224-63-3465
E-mail：supokomukakuda@woody.ocn.ne.jp
URL：http://www.socom-kakuda.jp/
対象エリア：宮城県角田市及び周辺地域
対象エリアの人口：30,097人
教育環境：小学校／8校 1,542名
中学校／3校 831名
高校／1校 486名
設立年月日：平成20年3月28日
設立母体：角田市体育協会
指導者数：総数 29名 (有資格者／15名)
(無資格者／14名)

設立の過程

- 平成16年度
角田市体育協会主催「総合型地域スポーツクラブ勉強会」開催。
みやぎ広域スポーツセンター主催「総合型地域スポーツクラブセミナー」開催。
- 平成18年度
「総合型地域スポーツクラブ」角田地区設立検討会開催。
- 平成19年度
「総合型地域スポーツクラブ」角田地区設立準備委員会設置。
日本体育協会総合型地域スポーツクラブ育成推進事業の育成指定クラブ委託事業を受託。
- 平成20年度
総合型地域スポーツクラブ「スポーツコミュニケーション・かくだ」設立。
財団法人健康・体力づくり事業財団「シニア体力アップステーション事業」受託。
ジュニア教室（陸上、サッカー、バスケットボール）を開催。
- 平成21年度
ジュニア教室に卓球とバドミントンを追加開催。
「スポコムかくだ・スポーツと音楽の夕べ」開催、スポーツと文化の融合。
- 平成22年度
プロバスケットボール・89ERSのバスケットボール教室及び公開練習会開催。
宮城県スポーツ振興財団共催スポーツ指導者資質向上講習会開催。
- 平成23年度
広域スポーツセンター機能強化事業・ジュニアポート教室開催。
(宮城県体育協会、アイリスオーヤマ、仙台大学、本クラブ 連携)。
ジュニア教室に「親子キャッチボール」を追加開催。
- 平成24年度
ジュニア教室に「チャリダー」を追加開催。
期間限定の教室として「ジュニアグライダー」開始。
プロバスケットボール・89ERSのバスケットボール教室及び公開練習会開催。
- 平成25年度
ベガルタ仙台レディースのなでしこリーグー角田

開催支援。

- 平成26年度
科学教室「コスモハウスクラブ」開始。
- 平成27年度
特定非営利活動法人による活動開始。
- 平成27年度
「親子たいそう教室」開始。
中・高生のスポーツ教室ボランティア導入。

活動プログラム

スポーツ・レクリエーション種目

〈ジュニア教室〉
陸上、サッカー、バスケットボール、バドミントン、卓球、野球、チャリダー、ポート、グライダー

〈成人教室〉

成人フィットネス、太極拳、ビニールボール、ノルディックウォーク、ニュースポーツ

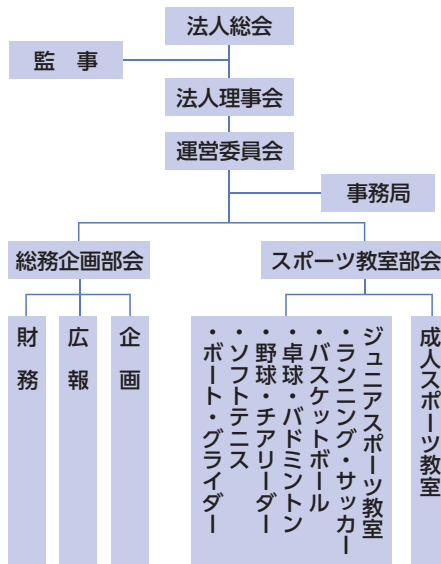
〈イベント〉

スポーツフェスティバル

文化活動種目

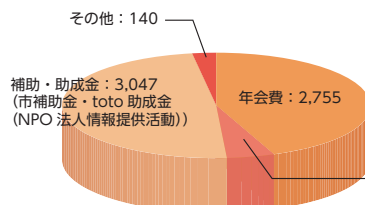
科学教室

組織図



活動費

予算総額：6,247,000円



活動施設

市町村スポーツ施設

角田市総合体育館、角田市陸上競技場、角田市スポーツ交流館、角田市野球場、多目的運動場、多目的芝生広場

市町村公民館等施設

角田自治センター、旧小田小学校

学校体育施設

角田市枝野小学校

設立による効果等

- 地域住民間の交流が活性化した
- 世代を超えた交流が生まれた
- 地域の連帯感が強まった
- 地域が活性化した
- 地域で子どもたちの成長を見守る機運が高まった
- 元気な高齢者が増えた
- 子どもたちが明るく活発になった
- 地域住民のスポーツ参加機会が増えた
- 特に変わりがない



会費内訳 (年会費)

小中学生	6,000円 / 1名
高校生・一般	8,000円 / 1名
運営会員	5,000円 / 1名

事業委託費：305

グラフ中の単位：千円